

## KKR 札幌医療センター

### 所属メンバー

- ・小林 一郎 (昭和 59 年卒)
- ・吉岡 幹朗 (平成 4 年卒)
- ・縄手 満 (平成 10 年卒)
- ・大倉 有加 (平成 13 年卒)
- ・大島由季代 (平成 21 年卒・非会員)
- ・岩本 圭祐 (平成 22 年卒・非会員)
- ・鈴木 諒太 (平成 26 年卒)
- ・高橋 豊 (特任部長 昭和 50 年卒)

### 卒後臨床研修医

12 人

### 専門外来

高橋 豊；アレルギー外来

小林一郎；リウマチ外来

縄手 満；こころの外来

佐々木理；循環器外来

朝比奈直子；神経外来

KKR 札幌医療センター

病院全体の医師数	103 人
小児科医師数	8 人 (うち非常勤 0 人)
病院全体の病床数	450 床
小児科病床数(NICU、ベビーを除く)	34 床
NICU 病床数	3 床
新生児病床数(NICU を除く)	0 床

NICU としての認定                      あり (新生児特定集中治療室管理料 2)

平均小児科外来数	94.5 人/日
平均時間外外来数	3.89 人/日 (小児科医が診察したものです)

年間入院患者数	2704 人/年
年間のべ入院患者数	14696 人/年 (入院患者数×入院日数)
年間時間外入院患者数	847 人/年

年間分娩数	442 人/年
年間低出生体重児(2,500g 未満)数	55 人/年
極低出生体重児(1,500g 未満)数	2 人/年
年間呼吸管理患者数	6 人/年

### 論文・著書など

1. 高橋豊、飯渕典子、岩本圭祐、大島由季代、大倉有加、縄手満、吉岡幹朗、鹿野高明：インフルエンザ罹患時にはウイルス型にかかわらず小児喘息患者の呼気NO値は低下する。喘息 2016；28：187-190
2. 高橋豊：B型肝炎ウイルス感染症とB型肝炎ワクチン。北海道小児科医会会報 2016；32：3-8
3. 高橋豊：インフルエンザ。中山義雄、片岡正(編)ビジュアル予防接種マニュアル 日本小児医事出版社(改訂第3版) 2016；P58
4. 飯塚進、中田修二、母坪智行、多米淳、東館義仁、小池明美、高橋豊、川村信明、新飯田裕一、渡辺徹：小中学校・幼稚園・保育園における食物アナフィラキシー対策網(第5報)集団生活におけるアナフィラキシー対策の現状。札幌市医師会医学雑誌 2016；41：69-70
5. 高橋晴香、鹿野高明、飯渕典子、伊藤舞、岩本圭祐、大島由季代、大倉有加、縄手満、吉岡幹郎、高橋豊、椎名千尋、月永一郎、松本猛：原因不明の小児 Stevens-Johnson症候群の一例。KKR 札幌医療センター医学雑誌 2016；13：63-67
6. 草地麻実、鹿野高明、伊藤舞、岩本圭祐、大島由季代、津曲俊太郎、築詰紀子、縄手満、吉岡幹郎、高橋豊、中田修二、谷道夫：卵黄腸管嚢胞の一例。KKR 札幌医療センター医学雑誌 2016；13：57-62
7. 飯渕典子、鹿野高明、伊藤舞、岩本圭祐、大島由季代、津曲俊太郎、縄手満、吉岡幹郎、高橋豊：胚芽腫を合併した18トリソミーの一例。小児科 2016；57：1395-98
8. 大倉有加、有賀正：C3欠損症。新領域別症候群シリーズ No. 36 免疫症候群(第2版)Ⅲ、日本臨床社、2016；854-858
9. 大倉有加、有賀正：C3 gain-of-function。新領域別症候群シリーズ No. 36 免疫症候群(第2版)Ⅲ、日本臨床社、2016；859-862
10. 大倉有加、有賀正：MCP(CD46)欠損症。新領域別症候群シリーズ No. 36 免疫症候群(第2版)Ⅲ、日本臨床社、2016；909-912
11. 大倉有加、有賀正：Membrane attack complex inhibitor(CD59)欠損症。新領域別症候群シリーズ No. 36 免疫症候群(第2版)Ⅲ、日本臨床社、2016；913-916
12. 大倉有加、有賀正：補体H因子に対する自己抗体による非典型的溶血性尿毒症症候群。新領域別症候群シリーズ No. 36 免疫症候群、日本臨床社、2016；942-944
13. 大倉有加：補体第3成分の欠損における臨床症状と genotype-phenotype との関連性。臨床免疫・アレルギー科 科学評論社、2016；Vol.66 No.6, 595-602
14. 小林一郎：免疫調節不全、多発性内分泌症、腸障害、X連鎖(IPEX)症候群。新領域別症候群シリーズ No. 36 免疫症候群(第2版)Ⅲ、日本臨床社、2016；481-484

15. 小林一郎：CD25 欠損症. 新領域別症候群シリーズ No. 36 免疫症候群(第2版)Ⅲ、日本臨床社、2016； 485-487
16. 小林一郎：CTLA-4 変異. 新領域別症候群シリーズ No. 36 免疫症候群(第2版)Ⅲ、日本臨床社、2016； 488-491
17. 小林一郎：STAT3 機能獲得変異. 新領域別症候群シリーズ No. 36 免疫症候群(第2版)Ⅲ、日本臨床社、2016； 492-495
18. 小林一郎：カンジタ感染と外胚葉形成異常を伴う自己免疫性多腺性内分泌不全症. 新領域別症候群シリーズ No. 36 免疫症候群(第2版)Ⅲ、日本臨床社、2016； 496-500
19. 小林一郎：ITCH 欠損症. 新領域別症候群シリーズ No. 36 免疫症候群(第2版)Ⅲ、日本臨床社、2016； 501-504
20. 小林一郎：Tripeptidyl peptidase II (TPP2) 欠損症. 新領域別症候群シリーズ No. 36 免疫症候群(第2版)Ⅲ、日本臨床社、2016；505-508
21. 小林一郎：AIRE の生殖細胞突然変異、IL-17 もしくは IL-22 に対する自己抗体による慢性皮膚粘膜カンジタ症. 新領域別症候群シリーズ No. 36 免疫症候群(第2版)Ⅲ、日本臨床社、2016； 927-929
22. 小林一郎：小児期発症皮膚筋炎-若年性皮膚筋炎-特集 “慢性疾患患児の一生を診る”. 小児内科 2016；48：1672-5
23. 小林一郎：水痘・帯状疱疹ウイルスとリウマチ性疾患. 臨床免疫・アレルギー科 2016；66：454-9
24. Ueki M, Yamada M, Ito K, Tozawa Y, Morino S, Horikoshi Y, Takada H, Abdrabou SS, Takezaki S, Kobayashi I, Ariga T: A heterozygous dominant-negative mutation in the coiled-coil of domain STAT-1 is the cause of autosomal -dominant mendelian susceptibility to mycobacterial diseases. *Clin Immunol* 2017；174:24-31.
25. Nakakubo S, Sasaki D, Uetake K, Kobayashi I: Stroke during norovirus infection as the initial episode of antiphospholipid syndrome. *Global Pediatr Health* vol.3, 2333794X15622771, 2016.
26. Kobayashi I, Tozawa Y, Ueki M, Takezaki S, Watanabe S, Iwafuchi H, Kuwana M, Ariga T: Tacrolimus in combination with methotrexate and corticosteroid for the treatment of child-onset anti-SRP antibody-positive necrotizing myopathy. *Scand J Rheumatol*, 2016 <http://dx.doi.org/10.1080/03009742.2016.1241297>
27. Muramatsu K, Ujiie H, Yokozeki M, Tsukinaga I, Ito M, Shikano T, Suzuki A, Tozawa T, Kobayashi I: Recurrence of juvenile dermatomyositis 8 years after remission. *JAAD Case Reports* 2017；3: 29-32,
28. Ueki M, Kobayashi I, Tozawa Y, Konishi S, Okamoto T, Yamada M, Ariga T: Anasarca as the initial symptom in a Japanese girl with Sjogren syndrome. *Mod Rheumatol Case Reports* in press.
29. Okura Y, Kobayashi I, Yamada M, Sakaki S, Yamada Y, Kamioka I, Kanai R, Takahashi Y, Ariga T: Clinical characteristics and genotype-phenotype correlations in C3 deficiency. *J Allergy Clin Immunol* 2016；137: 640-644e1,

30. Okura Y, Tsumagari S, Nawate M, Yoshioka M, Shikano T, Takahashi Y: Juvenile Idiopathic Arthritis with Rice Bodies in a 2-Year-Old Girl. J Pediatr 2016 ; 172 : 220.

## 学会発表

### 全国学会

1. 植木将弘、小林一郎、戸澤雄介、竹崎俊一郎、山田雅文、桑名正隆、有賀正：当科における若年性皮膚筋炎患者での診断遅延例の検討。第60回日本リウマチ学会総会、横浜、2016. 4. 21-24
2. 小林一郎；水痘・帯状疱疹とその予防 シンポジウム9 臨床に役立つ感染症とリウマチ性疾患の関連。第60回日本リウマチ学会総会、横浜、2016. 4. 21-24
3. 大倉有加、鈴木諒太、岩本圭祐、大島由季代、縄手満、吉岡幹郎、小林一郎、高橋豊：3歳未満に施行した食物経口負荷試験-即時型反応の有無と既往からの期間の検討-。第65回日本アレルギー学会学術集会、東京、2016. 6. 17-19
4. 小林一郎：小児SSは成人SSの早期発症例か？ ミニシンポジウム 小児と成人のシェーグレン症候群の対比について。第25回日本シェーグレン症候群学会学術集会、東京、2016. 9. 8-9
5. 大倉有加、鈴木諒太、岩本圭祐、大島由季代、縄手満、吉岡幹郎、小林一郎、高橋豊：3歳未満時における食物経口負荷試験(OFC)の検討～完全除去群と卵黄摂取群の比較～。第53回日本小児アレルギー学会、前橋、2016. 10. 8-9
6. 辻岡孝郎、小林一郎、植木将弘、戸澤雄介、杉山未奈子、竹崎俊一郎、大島淳二郎、井口昌裕、山田雅文、有賀正：骨関節痛を伴った急性白血病と若年性特発性関節炎の比較検討。第26回日本小児リウマチ学会総会、千葉、2016. 10. 21-23
7. 寺田健作、針生珠海、佐藤逸美、加藤昌、恩田哲雄、寺下友佳代、古瀬優太、鈴木靖人、仲西正憲、鈴木諒太、大倉有加、小林一郎：発症3年後に診断した若年性皮膚筋炎・若年性特発性関節炎のoverlapと考えられる一症例。第26回日本小児リウマチ学会総会、千葉、2016. 10. 21-23
8. 大倉有加、小林一郎、高橋豊、戸澤雄介、植木将弘、竹崎俊一郎、山田雅文、有賀正：無菌性髄膜炎を合併したシェーグレン症候群 5例の検討。第26回日本小児リウマチ学会総会、千葉、2016. 10. 21-23
9. 小林一郎：自己免疫疾患モデルとしての免疫不全症 シンポジウム“自己免疫疾患の発症機序”。第26回日本小児リウマチ学会総会、千葉、2016. 10. 21-23
10. 大倉有加、鈴木諒太、岩本圭祐、大島由季代、縄手満、吉岡幹郎、小林一郎、高橋豊：無菌性髄膜炎を合併したシェーグレン症候群5例の検討。第26回日本小児リウマチ学会、千葉、2016. 10. 21-23

11. 高橋豊、鈴木諒太、石原舞、岩本圭祐、大島由季代、大倉有加、縄手満、吉岡幹郎、小林一郎：小児アナフィラキシー患者における血清トリプターゼ値の検討. 第 43 回日本小児アレルギー学会、前橋、2016. 10
12. 鈴木諒太、半田稔也、大島由季代、岩本圭祐、大倉有加、縄手満、吉岡幹郎、小林一郎、高橋豊：ノロウイルス胃腸炎関連脳炎/脳症の 2 歳男児例. 第 48 回日本小児感染症学会総会・学術集会、岡山、2016. 11. 19-20

## 地方学会

1. 大島由季代、鈴木諒太、石原舞、岩本圭祐、大倉有加、縄手満、吉岡幹郎、小林一郎、高橋豊：リステリア髄膜炎の 1 歳男児例. 日本小児科学会北海道地方会第 296 回例会、旭川、2016. 6. 12
2. 大倉有加、半田稔也、鈴木諒太、岩本圭祐、大島由季代、縄手満、吉岡幹郎、小林一郎、高橋豊、吉澤史子、若山明子、秋葉真弓：再発性有痛性眼筋麻痺性ニューロパチーの 12 歳男児. 札幌市医師会豊平区・清田区支部合同「第 49 回症例検討会」、札幌、2016. 7. 11
3. 半田稔也、岩本圭祐、大島由季代、縄手満：今年度の被虐待入院奨励について. 第 13 回日本小児心身症医学会北海道地方会、札幌、2016. 7. 31
4. 吉岡幹郎、鈴木諒太、岩本圭祐、大島由季代、大倉有加、縄手満、小林一郎、高橋豊：川崎病と EBV 抗体価. 第 32 回北海道川崎病研究会、札幌、2016. 9. 3
5. 縄手満、鈴木諒太、岩本圭祐、大島由季代、大倉有加、吉岡幹郎、小林一郎、高橋豊：当センターの被虐待入院症例. 第 297 回日本小児科学会地方会、札幌、2016. 12. 4
6. 縄手満、鈴木諒太、岩本圭祐、大島由季代、大倉有加、吉岡幹郎、小林一郎、高橋豊：当センターの被虐待入院症例. 第 297 回日本小児科学会地方会、札幌、2016. 12. 26
7. 平松泰好、中山加奈子、原和也、鎌田晃嘉、鈴木雅彦、八楯聡、那須敬、植竹公明、山田雅文、小林一郎：若年性脊椎関節炎の一例. 第 29 回北海道小児リウマチ性疾患研究会、札幌、2017. 2. 25
8. 大島由季代、瀬川佳帆子、鈴木諒太、岩本圭祐、大倉有加、縄手満、吉岡幹郎、高橋豊、小林一郎、飯塚進：術前検査の高蛋白血症から診断に至ったシェーグレン症候群の一例. 第 29 回北海道小児リウマチ性疾患研究会、札幌、2017. 2. 25
9. 本庄遼太、藤田祥二、竹崎俊一郎、小林一郎：超音波検査が診断・病勢の把握に有用であったループス膀胱炎の一例. 第 29 回北海道小児リウマチ性疾患研究会、札幌、2017. 2. 25
10. 大倉有加、鈴木諒太、岩本圭祐、大島由季代、縄手満、吉岡幹郎、小林一郎、高橋豊：3 歳未満に施行した食物経口負荷試験(OFC)-即時型反応既往の有無と既往からの期間の検討-. 日本小児科学会北海道地方会第 298 回例会、札幌、2017. 2. 26

## 講演会

1. 高橋豊：食物アレルギーの新知見. 北広島市学術講演会、北広島市、2016. 4
2. 高橋豊：学校におけるアレルギー疾患への対応について. 北海道養護教諭研修会、札幌、2016. 5
3. 高橋豊：食物アレルギーとアトピー性皮膚炎の最新知見. 青森県小児保健協会夏季懇談会講演会、八戸、2016. 7
4. 吉岡幹郎：川崎病と EBV 抗体価. 第 3 回宮崎小児血液・腫瘍学術講演会、宮崎、2016. 10. 21

## その他社会貢献など

1. 縄手満：札幌市豊平区要保護児童対策地域協議会医院  
日本小児心身症学会地方会 副会長  
さっぽろ子どものこころのコンシェルジュ事業
2. 高橋豊：  
朝日新聞北海道版「けんこう処方箋」  
シラカバ花粉症の季節を前にして、2016. 4. 6  
アトピーの治療 正しい知識を、2016. 5. 11  
ウイルス「混在」流行期 注意を、2016. 6. 4  
予防接種 赤ちゃんは忙しい、2016. 7. 27  
小児救急 適切な対応のために、2016. 9. 7  
インフル接種 12 月中旬までに、2016. 10. 5  
食物アレルギー診療に新知見、2016. 11. 2  
インフルエンザ早くも流行、2016. 11. 30